

Q&A

建築学科の鳶先生と
専攻科2年生の平川君に
答えていただきました。

Q1 高校時代に悩んだことはどんなことでしたか？

Q2 どのようにして悩みを解決されましたか？

Q3 学生への伝言をお願いします。

建築学科 教授 鳶 敏和 先生



A1

中学時代と同様、数学、理科、社会はできるが、国語と英語はまるで馴染むという悩みもありましたが、それよりも意志が弱く行動力がない、将来像が描けないなど劣等感に苛まれていました。ただし、埋もれてしまうのは嫌、適度に注目されたいという、何とも身勝手な性格でした。今から考えると、「寡黙でストイックな人間」を演じていただけで、実は人前に出るのが恥ずかしくて、仕方なくコツコツやる人間だったのかもしれません。

A2

「悩みは一人で抱え込まず、誰かに相談しなさい」とよくいわれますが、性格的な問題なので、徒党を組まず、単独で行動するようにしました。小旅行したり、映画を見に行ったり、早朝ボウリングしたりして、活動範囲を広げていきました。さらに、自己主張の表れでしょうか？その頃 流行りのエレキバンドを組んで、プールサイドやクリスマスパーティなどで演奏していました。しかし、高校2年生の終わり頃、ラジオ番組『MBSヤングタウン』のオーディションを受けようということになったのですが、引っ越し思案の私は戻込みてしまいました。当時、ボーカルを務めていたので、メンバーには迷惑をかけたと思います。結局、意志が弱い点は解決されずじまいでした。

A3

12月から2月に掛けて、精神的に不安定になる人が何人かいました。中には、「人は果たして、このような状態になるのか！」と絶句するような光景を目の当たりにしてきました。特に、マスクを離せない人を見ると、心が痛みます。是非、高専生活の中で、気の置けない友人を見付けて下さい。社会に出ると、文化の違い、家庭優先、富や地位や名誉への執着などから、眞の友人と巡り合うのは難しくなります。また、「本当に大切なものは目に見えない」といいます。いつまでも子供の心を忘れず、素直になって、人への尊び、人への思いやり、人への感謝など、目に見えないものを大切にして下さい。

応用物質工学専攻 2年 平川 申弥 さん



A1

1つ目は「将来に対する悩み」です。大きな夢を持つわけでもなく、未来の自分が想像できませんでした。2つ目は「悩みを相談されることが悩み」でした。友人からは恋愛、勉強のことなどで相談を受けますが、人生経験が豊富なわけではないので、適切なアドバイスができなかったり、そんなことで悩むのかと疑問に持つことが多くありました。少し派生して、私は人の気持ちがわからないんじゃないかと思う時期もありました。

A2

1つ目の「将来に対する悩み」について。これはある先生との三者面談の時にお伺いしたところ、素敵な言葉を頂戴いたしました。「やりたいことが決まった時のために、今は勉強しなさい」。当時の私はストンと納得し、就職で困らないよう、授業は前以上に聞くようになりました。授業に集中するだけでも成績が向上するものなので面白いですね。おかげで昨年の就活は、成績面において自信を持ってトライできました。数学科のN先生。この場をお借りして、感謝の意を伝えさせていただきます。2つ目の「悩みを相談されることが悩み」について。実は今でも悩んでいます。むしろこの悩みは一生懸命解決しないとさえ考え、これからも上手に付き合っていくつもりです。最適なアドバイスができるようになるわけではありません。友人は必ずこれからも相談してくれると信じています。お互いに悩み、より良い答えを求める四苦八苦することで、私たちは成長できます。私は適度な悩みは学生生活や人生をより豊かにしてくれると考えています。皆さんもぜひ悩み、解決にチャレンジしてください。

A3

本来なら悩みは人に相談するのが一番なのでしょうが、私はあまり人に相談せず何でも1人で解決しようとする傾向にありました。今振り返れば「相談しなかった」のではなく「相談できなかった」のかもしれません。自分の悩みを聞かれるのが恥ずかしくて、勇気が出なかったのかなと思っています。相談することは友人との結束を高め、情報の交換などをスムーズにしてくれます。悩んでいることを他の人が知っているだけで、周りがフォローできる場面は多くあると今では考えています。これはよく相談を受けていた私だからはっきりと言えることです。ですから、まずは「誰かに相談すること」を考えてください。もし相談することが難しいのなら、「相談できる問題になるまで自分で改善してみる」。改善も難しいなら、「一旦別の楽しいことで悩む」と考え方をシフトしてみてください。時間が良い方向に導いてくれるかもしれませんし、楽しいことを想像して精神が休まればいい考えが浮かぶかもしれません。悩みすぎて、素敵な高専生活の時間を潰してしまうのはもったいないでしょう？たまには悩みを変えて、楽しく学生生活を送ってください！

世界を見てきて ~卒業生の体験記~

この度、ご結婚される横山真平さん(M40)、中山理紗さん(A36)に貴重な体験談を伺いました。

「世界にはまだ知らないことがたくさんある、世界にあるキラキラしたものたちを自分の目で見てみたい。」当時有明高専で二回目の三年生をしていた私は、新しいクラスメートから貸してもらった本を読みながら、そんなことをぼんやり考えていた。卒業後、建設会社に就職をし、代わり映えのしない毎日を送っていた私は、自分の人生はこのままで良いのか、自分がやりたいことは何なのかという疑問を抱き、会社を辞め、東京の設計事務所が主宰している建築塾に通いながら、デザインの勉強をしていた。そこでは建築のデザインのみでなく、哲学やアート、歴史、科学などからヒントを得ながら、自分の作品を作っていく手法を学んだ。「建築だけを勉強していても本当の建築はできない」そんな思いから、卒塾後、27歳の私は世界一周の旅に出ることを決めた。自分のことを一番理解してくれ、良い所も悪い所もお互いにさらけ出すことのできる相手を誘って。



(ウイグル地区にて、左から3人目が横山君、右から2人目が中山さん)

『一緒に旅行しない?』

近所のハンバーガー屋で君が言った何気ない一言が私たちの長い長い新婚旅行の始まりだった。行き先は世界のどこか、決まっているのはそれぐらいで泊まる場所も期間も何も決まっていない、奇妙奇天烈・摩訶不思議な旅の提案だった。大の飛行機嫌いでパスポートすら持っていない海外旅行未経験の僕に君はなんて事を言うのだろうと驚きつつも、高専卒業後自分の仕事に今ひとつ手応えを感じていなかった僕は少し考え、これもきっと何かの縁だろうと思い切って仕事を辞め、僅かなお金とバックパックひとつ持つて旅に出た。

旅に出てからの生活は正に驚きと発見の連続だった。食事は身振り手振りで食べたいものを伝え、宿は南京虫の出るような安い宿に泊まり、移動は何時来るとも出るとも分からぬバスにギュウギュウになって乗り込み、降ろされれば真夜中の人気の無い道のど真ん中、酔っぱらいに絡まれ野犬に追われ、言葉の通じない環境での生活は予想以上にストレスの貯まる事ばかり。それでも少しずつ現地の言葉を覚え臍せず積極的にコミュニケーションをとるように心がけると、私たちは徐々に旅を楽しめるようになった。中国で道を聞けば日本人だと差別されることなく皆親切に案内してくれる。ウイグルでは日替わりでやってくるウイグル人達と毎日お酒を呑み続けた。イランではたまたまバスで隣になった女の子が、良かつたら家に

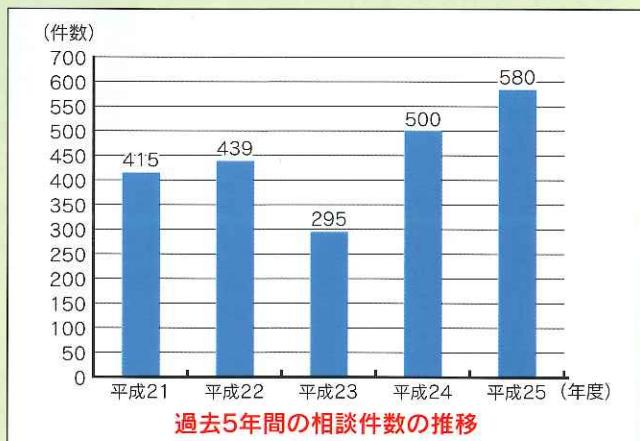
- おいでと泊めてくれた。ブルガリアではチエルノブイリ出身の宿主と原発問題について話し合った。最終的に中国→中央アジア→中東→欧州→東南アジアと20カ国6ヶ月弱の大旅行となった。私にとって初めての海外旅行だったが、本当に良い出会いの連続だった。常識の通用しない中で過ごす貧乏旅行は仕事に悩む自分を見つめ直すいい機会になった。
- 私たちが世界に出て感じたことは、とても心が軽かったということだった。人々は楽しければ町中やレストランで突然歌ったり踊ったりし始めるし、通りすがりに突然話しかけてきて自分の作った歌を聞かせてくる人もいたし、外国人である私達を珍しがって大勢で囲んでは質問攻めにしたり、お金が無いためボロボロの服を着て人から食べ物を分けてもらいながら旅を続けているような人もいた。日本にいる時は気づかないうちに他者と比べてしまっている自分がいたけれど、旅の間はあまりに違い過ぎて比べることなんてできなかった。むしろ違うことで生まれる新しい考え方や経験を楽しんでいたように思う。
- みなさんは、学校生活やこれから社会に出ると、周りとのギャップに時々息苦しく感じることがあるかもしない。だけど、過度に周りの意見に翻弄されたり、逆に自分の考えに固執したりせずに、他者との違いを楽しむつもりで、日々を自分らしく過ごしてほしいと思う。たくさんの人と関わることは、そのまま人生の豊かさに繋がると思うから。そして、少しの勇気と挑戦はきっとあなたたちの日常をより良くすると私たちには信じている。

学生相談室の利用件数

平成25年度の相談内容の内訳と平成21年～25年度の5年間の学生相談室利用件数を以下の図表に示します。平成25年度の相談件数は、平成24年度よりも増加し580件でした。皆さんにとって悩みの多い一年間だったのではないかと思います。具体的な項目としては、恋愛での相談が減っている一方で、学生生活での相談が31件（平成24年度）から141件（平成25年度）に急増しています。学生生活は悩みの連続であると思います。何か悩みがあるときや困ったことがあれば、一人で抱え込まずに、相談室を気軽に訪ねて下さい。

平成25年度相談内容と件数 ※カッコ内は平成24年度

項目	件数	項目	件数
進路	56 (37)	性格	42 (19)
家庭環境	65 (68)	病気	35 (58)
恋愛	14 (106)	いじめ	3 (0)
対人関係	57 (88)	体形・体質	2 (4)
不登校	0 (5)	学生生活	141 (31)
学業	77 (48)	その他	88 (36)
合計			580(500)



編集後記

学生相談室長を長く勤められた徳田仁先生が3月で退職される。ある卒業生から「私が授業中えない顔をしていたら、徳田先生は『悩みはないか?』とすぐに声をかけてくれた」という話を聞いた。いつも微笑んでおられるが、学生の少しの変化も見逃さない徳田先生の眼力に私自身何度もお世話になった。35年もの長きにわたり有明高専の学生を見守り続けた徳田先生。退職後は「天下一品」の無農薬野菜を作りたいとのこと。本当に疲れ様でした。
(藤本)

有明工業高等専門学校
学生相談室便り

『微笑み』第30号

発行日 平成27年2月20日
発行 有明工業高等専門学校
学生相談室
〒836-8585 大牟田市東萩尾町150
電話番号 0944-53-8657